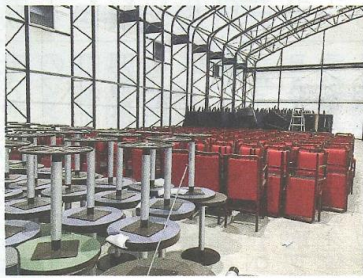


## トライシクル 敷地2万坪の再生施設 企業の排出品をリユース

金属リサイクルの東港金属を傘下に収めるサイクラーズ(東京都大田区)の子会社トライシクルでは、企業から排出されたオフィス家具等の再生事業を本格化する。千葉・富津にある2万坪強の敷地に、5棟の建屋がこのほど完成した。

サイクラーズは、創業約120年で金属リサイクルや産業廃棄物収集運搬を手掛ける東港金属を中核とした持株会社。年商70億円程を上げている。同じく傘下にあるトライシクルは一昨年に立ち上がった子会社で、企業から排出された不要品の引取りと再販、また企業間で不要品売買ができるアプリ「ReSA CO」を展開している。このほど完成した建屋が立地するのは、同社が昨年開設した「ReSA COリサイクルセンター」の敷地。2万3000坪の広大な面積を活用し、企業から収集したオフィス家具等の集約・再生・管理と、国内・国外向けに商品出荷も行う。トライシクルでは主

に関東1都3県を対象に企業からの無料引取りや買取りを行っており、月に最大3000点を集めている。福田隆CEOによると、「今年年初に月1000点程だった企業からの回収量が、現在2、3倍に増えている。コロナ禍による大企業のオフィス縮小の動きに追随する企業は来年度以降に増える」と見ており、オフィス家具の放出はもっと増えていく」という。同社では2022年までに1万社との取引を目指す。



↑富津市にある2万3000坪の敷地に再生事業を行う建屋ができた  
←企業から排出されたモノをリユースしていく

同社ではこれまで、自社で再生した中古品をリユース企業に卸したり、ReSA COのアプリ内で出品したりしていた。今後は単なる修理やクリーニングにとどまらず、リメイクにも力を入れていく。コロナで在宅ワ

クが広がっており、一般個人に向けてもECモールを利用した販売を広げていくという。「例えば金属の天板を木材に変えてあげるなど、インテリアにこだわるような人に向けて、自宅用に使いやすいように作り変える。リメイクに割く時間は1点1時間と決めて効率化を図る」(福田氏)



福田 隆CEO